

2022年9月11日 病者の塗油

「あなたがたはわたしの証人となる

（使徒言行録一・八）」

助任司祭 森 智宏

10月23日は世界宣教の日に当たっています。教皇様は世界宣教の日に合わせて、メッセージを送っていますが、その中で挙げられているのが、この使徒言行録の冒頭の部分です。その中で宣教が共同体的で教会的であること、私たちが私生活において宣教の使命に生きることで、宣教することにあたって聖霊の導きが必要であること、そして教会の普遍性と恒久性について取り上げており、特に多国籍、多文化の進む教会の小教区について言及しています。現代の日本の教会においても多国籍化が進み、以前より多様な人々が教会に集うようになったように思えます。そう言った中で、私たちにおいても世界宣教がより身近になってきているようにも思えます。

神言会も多様な国際性を持っており、私も神学生の頃から様々な国の人々と共同生活を送ってきました。その中でも日本にきている海外からの宣教師たちの多くは、日本語や日本文化の勉強で大変な思いをしていました。私自身、海外に行くまで実感できなかったのですが、自分の国を離れて異国に赴くことが、どれほど大変かということが分かります。私自身、多くの人の助けで貴重な経験をすることができたのですが、常識の違う国に放り込まれたとき、周りの人々の理解と助けがどれほど重要かということを感じます。しかし私たちがその人たちに寄り添い、受け入れようとするとき、教会がより豊かになるようにも感じます。宣教師に限らず、海外から来て教会のために奉仕する人々には多くの苦勞を強いられますが、そのこと自体がキリストの「証人」になることであり、その苦勞を理解し、寄り添おうとすることを通して、キリストの「証人」になることが求められています。それは教会が多様性と国際性を通してより豊かになり、その中にあるキリストの愛を見ることのできるからです。

私たちが世界宣教の日を通して、他国から来ている人々を受け入れ、その人々の間でキリストの愛の証人となることのできるように共に祈りましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(小聖堂)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
*ゆるしの秘跡は主日ミサ前に受けられます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・11時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

9月11日8時ミサパウロ主任司祭ミサ冒頭挨拶と説教(要約)

(挨拶) 皆さん、今日は年間第24主日、このミサはご長寿健康感謝ミサとしてお捧げします。自分が恵まれていること、信仰を歩んでいくことを感謝し、お捧げしたいと思えます。また、参加できない兄弟姉妹のためにも祈ります。それぞれの場で心を合わせて霊的なこころのつどいに参加できますように。

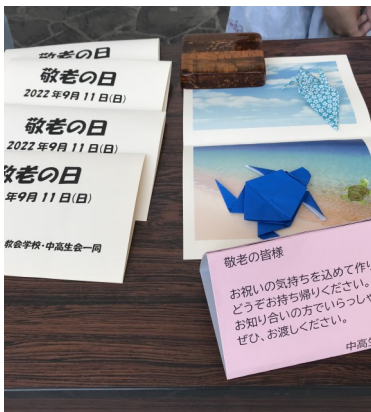
(説教) 皆さん、今日の聖書の朗読は神のあわれみと救いを説明する朗読です。第一朗読(出エジプト32・7-11、13-14)は神の民をあらわれむ神の姿が描かれています。神から離れたイスラエルの民が、あわれみをいただくのです。第二朗読(1テモテ1・12-17)では使徒パウロが神のあわれみをうけたことが描かれています。使徒パウロは優れた宣教師ですが、はじめパウロはイエスの信徒を迫害していました。神のあわれみを受けてから優れた宣教師となりました。

朗読された箇所は聖パウロが神のあわれみと救いについての証しです。今日の福音書(ルカ15・1-32)のなかでは、見失った一匹の羊と銀貨のたとえがでてきます。これも救いについてです。このたとえを誰に話しておられるでしょうか。イエスキリストは自分が正

しいと思う人、徴税人・ファリサイ派・律法学者と会って、この人たちに向けて話をします。ファリサイ派の人々や律法学者たちから「この人は罪人たちを迎えて、食事まで一緒にしている。」と不平があがりました。食事と言え、人間の交わりを強めます。聖書のなかの食卓は人間と神様のまじわりを現わす出来事です。その交わりにみなさん招かれています。99匹と1匹の羊のたとえはよく説明しています。見失った羊は罪人です。とても大切であり、神さまから離れた人が、神さまに立ち返る機会があります。神さまご自身がさがしてくださいます。神さまが人の救いを希望しておられます。みなさん、今日聞いたたとえは罪1対罪なし99ということではない、神さまの近さを感じていない人や神さまが自分から離れてしまったかと思う人のためにあります。まず、神さまが、近くにられることを思い出す必要があります。私たちを神さま自身が整えた食卓に招いてくださっています。一番すぐれたかたちは「ミサです。ごミサは神さまのみことばの食卓であります。また、キリストのからだの食卓であります。私たちの日々のなかに、神のめぐみを受けることではないでしょうか。

食卓とはまず招きに応える。この招きにわたしたちが応えるので、大きな恵みだけではなく、小さい喜びもあります。恵みである小さい喜びを見出して、これに感謝しましょう。日中に頂いた恵みを感謝することができず、もし忘れたら夜寝る前に思い出し、一日どのようなことができたか、神様のあわれみと愛を感じていたかを思い出せばいいので、神様の食卓に参加することができ

今日は敬老のお祝いをしたと思います。お年になってからも感謝をすること、喜ぶことがたくさんあります。時々、疲れや痛みがあり、この恵みを見出すことができ、この恵みも見出すことができない日もあるかもしれませんが、この日でも、私たちの目、心を開いて、いただいた恵みに応えるこ



とができるように祈り求めましょう。アーメン。



「平和祈念の集い」に寄せて

井爪 光子

「二度と戦争を起こしてはならない」と強く願って「平和祈念の集い」を南山教会で始めたのは今から十四年前、一昨年コロナの緊急事態宣言の直前、昨年も増加中のところ、一年も欠かす事なく奇跡的に神様のお守りで今年も開催することが出来ました。教会の皆様のお支えのお蔭で南山教会の平和行事と認めて頂けるようになった事も大きな感謝です。今年も仙台区正義と平和協議会担当の佐々木博神父様が87歳の高齢、遠方にもかかわらず講話を引き受けて下さいました。終了後数々の嬉しい反

響がありました。その中のお一人が感想文を寄せてくださいましたのでご紹介します。

ウクライナの戦争が始まってから、すでに半年になります。世界中がウクライナに平和を、と祈っています。ウクライナに平和を、

と言う時、その平和とは具体的にどのような状態を指すのでしょうか。まずは停戦です。戦争のない状態です。人々が安心して寝られるような、戦争のない日常です。確かに、これは平和の範疇に入ります。

しかし、平和には色々なレベルがあります。私たちは、一蓮托生の地球に住むものとして、どのようなレベルの平和を目標としているのでしょうか？又、そのために、どのような事ができるのでしょうか？

8月7日、私はこんな問いを抱いて、お御堂に出かけました。第14回平和記念の集いです。

佐々木博神父様は、「世界平和構築のための日本の主導的役割とは何か」を主題に話をされました。

内容は、大変具体的に明快でした。言うべき事をはっきり言われましたので、スカッと爽やかな気分です。

優先課題を3点あげられました。被爆国日本こそが、「なぜ日本は核兵器禁止条約に署名できないのか」と。それは「米の核の傘の下にあるため」だと。

・日本の平和憲法こそが世界平和実現の原動力になる。
平和憲法が成立した、昭和21年当時の国会討論から、60年安保闘争を経て、今日の「第9条を改正する？」までの流れを考察・歴史的資料を中心にして。

・聖書に学ぶ世界平和への道筋。
旧約聖書の中に見られる、数々の平和メッセージ。新約聖書からは「実に、キリストはわたしたちの平和であります。十字架によつて敵意を滅ぼされました」

「わたしはあなた方に平和を残し、私の平和を与える。わたしは世が与えるようには与えない」
そして最後に、キリスト者の目指す平和が、どのようなものであるかを明らかにして、講話を締め括られました。

その平和は、欠けているところがない、まん丸の満月のように感じられました。この「主の平和」を、日々の生活の中で、どのように行動に移していくのか。

でも、「いつもあなた方と共にいる」と、約束して下さったイエス

様に助けられ、常に希望を持って、少しづつ、少しづつと祈っています。

神父様は、長時間のお話にも関わらず、用意された椅子に一度も座られることがありませんでした。戦争を体験された世代の方が持つ、力強いメッセージが伝わってきました。ありがとうございます。

典礼一口メモ 香部屋の窓から
第55回「式次第」のお話
典礼委員長 新内飛鳥

兄弟姉妹の皆さん、いよいよですね。ところで時間というのはいま前にあると山のように大きく長く感じますが、過ぎてしまつとあつという間です。旅行に行くときには遠く長く感じますが、帰り道は不思議に早く感じるのと似ているかもしれません。

ミサに使われている式文がいよいよ、今年訪れる待降節から新しいものに変わります。日本全国の全てのカトリック教会と修道院などの共同体で一斉に変わります。第二バチカン公会議でミサはラテン語だけではなくて、それぞれの国や民族の言葉でささげているのです。わからない言葉よりもよく知っている言葉を使うことで、より味わってください。…と各国

母国語のミサが認められました。

その後、うんと時は流れましたが、パパ様が世界中の教会に「ちゃんと訳したものを使ってくださいね」と発しました。更に実に長い期間をかけて準備されてきました。そして、昨年、ついに「次の待降節から」とその全容が明らかにになりました。名古屋教区の典礼委員会はこの変化に適応するため数回の研修会を開きました。

南山教会ではこれらの研修への参加を薦めるほか、折に触れて情報を発してきました。読み合わせの会を計画しますが、どうぞ皆さん、これは教会の問題ではありませんが、私たち一人一人の問題であることをお忘れないように願います。「どうなるの？」と悩んだり尋ねるだけではなく、自分で出る準備を積極的にしましょう。

売店に尋ねていただければ新しい式文を使ったテキストも販売されています。間に合うように買い求めてください。慣れない内はテキストを持ち込んでミサにあずかればいいのです。できれば祭壇で行われることや、朗読台で語られる神の言葉はしっかりと見つめたいのですが、こういう状況は仕方がないのです。遠慮せずテキストを使いましょう。そのためにはテキストを手に入れることが必須です。間に合うようにお急ぎください。

10月2日

はじめの祈り

報告・連絡事項

1. 9月25日教会美化について

晴天に恵まれて暑いくらいでしたが、子供たちはキャンプでいながらだったので大人で頑張りました。予定よりも早く終わり、お茶とおにぎりが配られました。



2. 病者の塗油について

9～11の午前中ミサで病者の塗油が行われました。教会学校にて作

成されたカードが配布され、ミサでは要約筆記の会の御奉仕がおこなわれました。

3. ナザレ館建築の進捗状況について

最新のスケジュールが更新され、聖堂とマリア館の玄関に貼られていますのでご確認ください。

・道路に面している花壇として使

用していた部分は市道と判明しましたので、工事も終わり前と変わっています。駐輪禁止ですの

で、ミサ進行係の案内及びお知らせで周知をお願いします。

・竣工式は早ければ1～15、遅く

なると1～22日です。

・祝別式は、及び命名式は12月30

日の聖家族の祝日にミサのあと

ジェブーラ管区長の司式で行いま

す。外構が完成するまでは中庭で

は行事ができませんので、ナザレ

館の中で実施され、竣工式は中庭

も用いて開催されます。

4. その他

・南山教会では現在車を2台保有

車の購入について、評議会で決議され、賛成多数で採決されました。

・9～23～25の日程で教会学校、中高生会合同でキャンプに行つて

きました。長野県の駒ヶ根キャンプ

センターで行われ、初日は雨でしたが二日目以降は晴れて楽しめ

ました。

家族ごとに部屋が割り当てられ

て、とても良い時間となりました。

食事を作ったりすることで家

族同士を知ることができ、教会の

土台である家族を感じることが出

来たと思います。

ケガもなく無事に終わり、皆様

のご協力に感謝いたします。

・パイプオルガン点検を10～12

13で実施します。今回はスウェル

扉内の小さいパイプを、全てはず

して点検を行います。点検期間中はパイプオルガンの使用ができません。

◎ 審議・相談事項

1. 今後の新型コロナウイルス感染症対策について

・ミサでの対策

現在、11時のミサを増設し、聖

堂の席を通常の半数の134名に制限して

おります。ミサ前には「検温」・「手指消毒」・「記名」を

お願いしています。

を鑑み換気を行い、感染症の状態によって典札の方法を変更して

います。ミサ後も感染症の状態に応じて、三密対策をお願いしていま

す。

以上について今後も継続してい

くかどうか？ また緩和していく

とすればどのタイミングで何をどの

様に行うか？ 今後の方針につ

いて評議員の皆様からご意見をいただき、以下の原案を作成いた

しました。次回の運営委員会にてこの原案を審議し今後のコロナ対策

の指針といたします。下記原案について皆様よりのご意見ご要望を

おねがいたします。

◎今後のコロナ対策の指針(原案)

○基本方針 冬の第8波が12月

～1月頃に来る可能性がある為、

これを見極めてからコロナ対策の

再検討を行う。それまでの間、原則として現状の対策を継続する。

その為11月・12月の評議会にて以下のコロナ対策再検討の具体案を精査し、その後のコロナ感染症の状況を鑑み行う事を審議する。

・ミサでのコロナ対策の再検討の内容

ミサ前の対策これまで感染経路

特定の目的から「記名」を行って

まいりましたが、これを省略しま

スク着用・検温・手指消毒のみと

することに ついて。

ミサ中の対策 ・現在収容人員の50%を目途に上限人員を134名設定していましたが、これを増員することについて。(増員数は今後検討する。)

・奉納行列を再開することについて。

・聖歌の御唱和について、代表者が独唱するなどの方法を検討し、段階的に再開することについて。

・11時のミサは当面の間、継続する。中止する場合、評議会にて審議し次月より中止するものとす。

・教会行事について

これまで緊急事態宣言の場合はすべての行事を中止。まん延防止宣言が出された際には、中止を検討し、それ以外の期間是对策を行い、縮小もしくは形を変えて行事を行ってまいりました。

今後も行事ごとに評議会にて、行うかどうか、行うとすればどの様に行うかを審議していく予定です。

2. ナザレ館竣工式について

・前回の評議会にて、今年のバザーは中止し、それに代わる教会行事を審議し「ナザレ館竣工式」のイベントを行うこととなりました。飲食の提供は行わず、開催時間は45分を目安とし、催しを何に

するか今後検討されます。

・ナザレ館の引き渡しは12月中頃の予定となりましたので、開催は年が明けて1~15日以降で調整していきます。当日は9時半ミサを日英合同とし、続けて聖堂にて竣工式を開催する案が出ました。

11時ミサは無しとします。当日配布される記念品が準備されます。

・12~30にジェブーラ神父様により祝別と命名式が行なわれます。

3. クリスマスマシサのコロナ対策について

・昨年度はミサを増設し、一部予約制にて行いました。今年度はどの様に行うか評議会にて審議いたします。

・今年は12~24(土)、12~25(日)となるのでミサに与る方は増えると予測されます。

・ミサの時間：12~24 (16:00 18:00 20:00 22:00) ※17:00ミサはありません

12~25 (8:00 9:30 11:00 18:00)

・予約設定するミサの時間や方法など、原案を作成して評議委員の皆様へ展開いたします。

5. その他

・敬老会のカード、準備した100枚が全て配られました。子供たちにお礼のお菓子を配ります

◎各会報告

典礼委員会

・10~9(日)・・休暇帰国中の

佐藤新神父(神言会)が9:30ミサを司式してくださいませ。

・10~23(日)・・世界宣教の日に当たり、各ミサ前に「宣教者の祈り」をささげます。

・11~1(火)・・諸聖人の祭日に当たり、7:00 19:00 で2回ミサがあります。

・11~2(水)・・死者の日に当たり、7:00 10:00 19:00 で3回ミサがあります。

・11~5, 6(土・日)・・各ミサ後、「新式次第の読み合わせ」を計画しています。

・11~13(日)・・9:30ミサで七

五三の祝福があります。

・11~20(日)・・王であるキリスト 9:30ミサで入門式があります(9:00よりリハーサル)

◎終わりの祈り

次回評議会 11月6日

教会学校・中高生会合同キャンプ 駒ヶ根キャンプセンター 9月23日~25日

「私の幸せ」

中学一年 成井 咲喜子

「はあ、めっちゃ幸せ♥」

これは、今年のキャンプで何度も、何度も感じたことです。駒ヶ根キャンプセンターで二泊三日の

時間を過ごしました。去年のキャンプはできなくて「キャンプ」というものじたいがどういうもの

だったか、という感覚が薄れてしまったのもあって、今年のキャンプはとても充実したものだっ

た、と感じることができました。一日目は、朝から台風の影響

で、ずつと強い雨がふっていて、予定が大きく変わってしまいました。カトリック駒ヶ根教会には、

行けたので良かったです。夜のバーベキューも、久しぶりだったので、美味しかったです。それよりも先に、キャンプセンターのツ

リーハウスが絵に描いたような、おしゃれさ、かわささで、ドキドキワクワクしました。二日目は、

楽しみがぎゅーと詰まった一日でした。朝、起きて、ラジオ体操をして、目が覚めた後、すてきな

朝ごはんを食べて、休けいをした後、ハイキングに行きました。日本最高2619mの駒にロープウェイで行きました。二日目は雨が上

がって太陽が出てきましたが、やっぱり標高が高い山は、寒かったです。ロープウェイに乗って、

移動している時に、霞の中に入って、視野が真っ白になって、びっくりしたけど逆に面白かったです。ハイキングの後、お昼ご飯を

食べた後、次はプラネタリウムに

行って、南半球で光る星達を見ました。とてもきれいでした。ハイキングに行って疲れているので、プラネタリウムの後の温泉に入るときは、本当に気持ちよくて寝てしまいそうでした。露天風呂

野郎駒ケ根のキャンプ場では家族でツリーハウス型の部屋で外から見たら可愛いらしい型でしたが中に入ったから案外揺れてびっくり

や、菓の入ったお風呂など、のぼせてしまうまで色々な温泉を満きつしました。その温泉で晩ごはんを食べたら、いよいよ大きなイベント、キャンプファイヤーが始まります。中高生会の出し物の確認していたら木に火がつかました。中高生会の出し物で、山の手線ゲームと、これ誰でしょうゲームと楽器を使って歌をうたいました。本当にあつという間に終わってしまったけど、本当にすてきな時間でした。

三日目は、ミサをしました。一日目にも二日目にも、三日目にも、ギターを弾きました。手にもマメができてしまうくらいに練習して、弾いてよかったと思います。

題名で書いたように、このキャンプで「私の幸せ」が本当にたくさんありました。この大切な思い出を忘れずに、これからの日々を過ごしていきたいです。

「教会キャンプ」

高校2年生 武 杏樹

私たち中高生会は、教会学校のキャンプについていきました。長



初日は雨がふって初日の予定は大半がキャンセルになりました。二日目はハイキング、プラネタリウム、温泉など少しハードスケジュールでした。ハイキングではロープウェイに乗る前にバスに30分くらい乗っていたのですが野生のサルを見つけてみんな大興奮

で見えていました。山道を揺れてるのは楽しいアトラクションのようでした。本当は初日に川で水遊びをするはずでしたが、台風になりそうでもできなくてつまらなかつたです。キャンプ場には川以外にも屋内にも卓球台があったりして多目的室でみんなではしゃいで遊びました。今年には疲れたので来年キャンプにいくのならもう全て準備がされているやつが良いです。

今年のキャンプ

里田 笑実

今年のキャンプは姉がこれないので楽しくはならないかなと行く前は思っていました。ですが、バーベQや、教会学校の人たちがいたので、とっても楽しかったです。

1日目は雨で、渋滞があったためいろいろと大変でした。目的地の駒ケ根に行ったら教会学校の子とボールやフリスビーであそびました。

「キャンプ日記」

武 そら

中高生会に入って初めてのキャンプはとても印象に残るものでした。一日目は雨でふれあい広場で食べるはずのお弁当がキャンプセンターで食べることとなり、川遊びも雨でおじやんになりました。けれど、その時間で友人と卓球したりホワイトボードに絵を描いたりとても楽しくすごせました。部

屋割りをもらった後、カトリック
駒ヶ根教会にいき、おいのりを
し、バーベキューの準備をしまし
た。バーベキューではお肉がとて
もおいしかったです。その日は大
体それだけで終わりました。

2日目は時間割には10分間と印さ
れているのに実際は、4、5分し
かなかつたラジオ体操をして、朝
食を食べました。その日はハイキ
ングやロープウェイがあつたんで
すが私は腹痛でいけず、結局プラ
ネタリウムと温泉にだけ行しまし
た。その日の夜は、キャンプフア
イヤーと線香花火をしました。そ
して今3日目この感想文を書いて
います。とても記憶に残るものと
なりました。

今年のキャンプ

萩原 逢人

今年は、駒ヶ根キャンプ場に、
2泊3日で行きました。昨年は行
けなかったので、とても楽しみに
しました。

なのに台風15号が来るとい
うではありませんか！雨がザー降
る、ということ公園はだめ。な
のでキャンプ場へ直行、着いた人
から、昼食という形になりました。
川遊びは最終日へ移動し、
「明日は晴れるといいなあ」と思
いました。9月24日。みごとに晴
天で、清々しい気分です。



をし、朝食を食べる。

その日は駒ヶ岳にバスとロープ
ウェイで行きました。バスはありえ
ない角度のつづら折りをものとも
せず、ガードレールギリギリをか
なりの速さで、登っていきます。

その次にロープウェイで日本一高
い海拔高度2619mの駒ヶ岳駅か
ら遊歩道をハイキングしました。
山の峰は高く切り立っていて、絶
景でした。ロープウェイで下ると
き、思ったより速く、何度も耳が
キーンとしました。

キャンプファイヤーで出し物をし
て、リコーダーも吹きました。花
文は、来月号に掲載します。

火は線香花火だけでしたが、とて
もきれいでした。一度解散しまし
たが、すぐに二次会がスタート
ポップコーンやウインナーなどが
出て、大盛り上がりでした。ラス
ト3日目には、水遊びが30〜40分
ほどあり、この作文を書くという
お決まりのパターンで、昼食を食
べて解散します。

今回もまた友達とのきずなをふ
かめることが出来ました。コロナ
禍なのに、行けたという事がとて
もうれしかったです。来年も行け
たらなと思います。



*教会学校(小学生のキャンプ感想
文は、来月号に掲載します。

フォン神父様 ベトナム帰省のお写真 Ver 1(次月号に続きます)



地元の教会



生まれ故郷
キンザン省メコン川

神から恩寵を頂く力ある手段として

教会が賛同しているすべての信心の中で、いと高きロザリオの信心ほど数多くの奇跡に恵まれた信心は他に類を見ない。根気強く忍耐を重ねた結果、ついに恩寵を頂くために熱心に度々ロザリオを唱える者たちは、徐々に恩寵と聖性によって成長し、聖母マリアのご保護を体験し、神との友情を保ち続けるようになる。ロザリオを唱え続ける者が罪の生活にいつまでも浸っていることはあり得ない。ロザリオを実践する者は必然的に罪を棄てるものだし、罪の生活を続けるものはロザリオを棄てるからである。

ヒュー・ボイル司教



信者の消息

結婚

♡ お幸せに ♡

ミカエル 黒川 金志朗 □ 片倉 理
ヨセフ HOANG VAN HAI □
テレジア TRAN THI HUYEN DIEU

帰天

神の栄光にあずかれますように

Sr. Beatissima Dittrich Edith Sonja (99歳)
アグネス 下妻 昌子 (91歳)

～待降節第1主日（11月27日）から
新しい典礼に変わります～

新式次第が3社から出版されています

教会売店にて発売中です



「キリストと
わたしたちのミサ」
(サンパウロ)
¥495 (税込)



「ともにささげるミサ」
(オリエンズ宗教研究所)
¥770 (税込)

「祈りの手帖」
(ドンボスコ社)
¥440 (税込)

2022年10月 - 11月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
10月	ロザリオの月	ロザリオの月	1(土)典礼委員会 2(日)南山小教区宣教司牧評議会 7(金)マリア会例会(懇談会) 16(日)ヨセフ会班長会、教会周辺清掃、エマオの会 15(土)子ども部屋 22(土)要約筆記付きミサ	2(日)宣教司牧評議会 9(日)東八事第一墓地合同追悼ミサ 15(土)レジオマリエ名古屋クリア 23(日)世界宣教の日(献金)
11月	死者の月 1(火)諸聖人の祭日 2(水)死者の日 9(水)ラテラン教会の献堂 20(日)王であるキリスト 27(日)待降節第一主日(A年)	(日)予算審議開始 6(日)14:00追悼ミサ(大聖堂) 13(日)子どものミサ(七五三) 20(日)9:30入門式	5(土)典礼委員会 6(日)南山小教区宣教司牧評議会 11(金)マリア会例会 20(日)ヨセフ会班長会・教会周辺清掃、エマオの会 19(土)子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ	6(日)東八事第二墓地合同追悼ミサ 19(土)レジオマリエ名古屋クリア 20(日)～27(日)聖書週間 20(日)城東ブロック会議